



長野市公共施設マネジメント

ニュース・レター Vol. 9

平成31年3月 長野市



第9号

ボランティア活動市民会議に参加しました 開催テーマ～ボランティアの活動拠点について考えよう～

平成30年12月15日（土）、ふれあい福祉センターで「平成30年度ボランティア活動市民会議（主催：長野市ボランティア連絡協議会）」が開催されました。開催プログラムは、はじめに市からの説明として、公共施設マネジメント推進課から長野市の公共施設の現状や全体的な取組の概要を、続いて教育委員会から市立公民館を地域活動の拠点となる交流センターにしていく計画について説明させていただきました。

次に事例紹介として、上田市豊殿地区「hinata bocca とよさと」の取組と、住民が設立した社会福祉法人が運営する飯田市千代保育園について発表があり、最後にワークショップ形式による意見交換を行いました。参加した職員も勉強になりました。ボランティア連絡協議会の皆さま、ありがとうございました。



ワークショップの意見の一部を紹介します

テーマ① 地域にとっても、ボランティアにとっても必要な施設は？

- ◇無料・安く使える、気軽に使える
- ◇メンテナンスのためには受益者負担も必要・・・でも安くしてほしい
- ◇世代を超えた交流の場。子どもと高齢者・障害者が一緒に学べ、交流できる場
- ◇住民とかボランティアとか区別しない、誰でも集える施設。そこから協働が生まれる施設

テーマ② 使えそうな施設、使われていない施設は？

- ◇学校、お寺。空き家、空き店舗
- ◇福祉施設。民間の介護施設や障害者施設が会議室等を開放している。施設を開放している事業者は、住民活動やボランティアのプラットフォームでありたいと考えている。おでんの鍋(具ではない)になりたい。
- ◇NPO法人で建物を借りているが、空いている日には他のグループ等に使ってもらえるのでは。わずかも収入になり、NPOの活動に対する理解が生まれ、つながりができる

テーマ③ 今あるものをうまく活用するアイデアは？

- ◇休日に使えない調理室（公民館）がある。休日もボランティアが使えるようにしてほしい
- ◇行政と対話を。「使いたい」という箱からでなく〇〇のためにこんな活動をしたいというところから話す
- ◇高齢者施設を夏休み受験生に開放する。広い部屋はシェアする。少人数で占有しない
- ◇スーパーマーケット等店舗の一面を住民活動に利用して、双方にメリットが生まれると良い
- ◇住民主体の一人一人が持っている強みを生かした活動を。偉い先生を呼ばずにお互いに学び合う
- ◇住民の想い、相談に乗ってくれる人が必要。学びから活動、仕組みづくりにつなげるファシリテーター

将来世代の皆さんと公共施設マネジメントを考える

市立長野高校 出前授業を開催しました

市立長野高等学校と連携し、将来を担う世代の高校生を対象に、今後の公共施設の在り方を考えるための出前授業を行いました。市職員が講師を務め、「長野市の公共施設の現状」や「公共施設の老朽化問題とは」などをお話ししました。授業後のアンケートからは、生徒ひとりひとりの観点で公共施設に関心を持っていただいたことがわかります（以下に一部紹介します）。

一般の方向けには出前講座をご用意しています。公共施設マネジメント推進課へお問い合わせください。

【出前授業の概要】

- 1 日 時 平成31年1月21日(月)～25日(金)のうち3日間
- 2 場 所 長野市立長野高等学校（ホームルーム教室）
- 3 参加者 受講生：1年生（1クラスずつ4回に分けて、合計約160名）

【授業後アンケートより】

- ◆人口が減り税金も多くないのに、たくさんの施設を維持させるのは大変なのだ気付きました。
- ◆自分も公共施設は使うので、使う人たち全員で老朽化について問題を解決できればいいと思いました。
- ◆少子高齢化によって税金を支払う年齢の人たちが少なくなっていて、公共施設等の整備が十分にできなくなってしまうおそれがあると思うと不安を感じました。
- ◆オリンピックスタジアムも、今後何に使うか考えた上で建てたということだったので、将来の使い方を考えて公共施設を建てるということは大事だと思いました。



清泉女学院大学との連携「ナガノ文系女子が公共施設をマネジメントしたら2018」 「ナガノ文系女子」が市職員向け「夜間講座」の講師に挑戦！

平成31年2月6日（水）、プロジェクト※1メンバーの4人（文化学科1年生）が、自らが考案したワークショップ型の「公共施設マネジメント シミュレーションゲーム※2」を使って、市職員向けの「夜間講座」で講師を務めました。

若い人たちにも公共施設に関心を持ってもらいたいと考えたこのゲームは、市職員にとっても公共施設の問題をわかりやすく体験することができ、大変好評でした。意見交換の時間では、よりわかりやすいゲームにするための工夫や、意見が多く出されました。

【ナガノ文系女子の感想から】

- ◆施設の在り方に対して、学生の目線と大人の目線が違うのがとても興味深いと思いました。
- ◆大人の考えを聞いて、学生に広めていかないといけないと改めて感じました。

※1 公共施設マネジメントについて、清泉女学院大学と連携して進めているプロジェクト。若者の立場で公共施設に関する課題を考えるとともに、同世代へ発信していく取組みを行っています。

※2 シミュレーションゲーム概要（仮想都市N市の公共施設問題）

- ◆N市の各地区にある施設にポイントを付与。
- ◆参加者は各地区の区長になって、合計100Pの施設総量を80Pに縮減する目標に向け施設の統廃合を進めます。



地区の公共施設について考える

～平成30年度地区別市民ワークショップ等へのご参加ありがとうございました～

公共施設マネジメントについて理解を深めていただき、市の取組に対する意見をお聴きするため、昨年度に引き続き、地区別のワークショップなどを行いました。今年度は、地区の実情に応じ、ワークショップ形式のほか、懇談会として開催した地区もありました。開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

市では、個々の公共施設の維持保全や更新、あるいは統廃合などの具体的な対応方針を定めた、施設分野ごとの「個別施設計画」を2020年度までに策定する予定です。再編・再配置にあたっては、ワークショップなどでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら策定を進めてまいります。

平成30年度市民ワークショップ等開催実績

| 地区【開催形式】 | 期 日 | 地区【開催形式】 | 期 日 |
|------------------|-------------------------------------|------------------|--|
| 戸 隠 【ワークショップ】 | ①6月10日(日) ②7月 8日(日) ③8月19日(日) | 豊 野 【ワークショップ】 | ①7月28日(土) ②8月18日(土) ③9月15日(土) |
| 信 更 【ワークショップ】 | ①6月17日(日) ②7月15日(日) ③8月26日(日) | 若 槻 【ワークショップ】 | ① 9月 8日(土) ② 9月29日(土) ③10月20日(土) ④11月11日(日) |
| 第 五 【懇談会】 | 6月27日(水) | 鬼無里 【ワークショップ】 | ①11月17日(土) ②12月15日(土) ③ 1月26日(土) |
| 第 三 【懇談会】 | ①7月13日(金) ②11月9日(金) | 柳 原 【懇談会】 | 1月27日(日) |



【ワークショップ形式】
グループごとに、地区の施設について話し合っていました。

【懇談会形式】
「長野市の公共施設の現状」などについて、たくさんの方にお聞きいただきました。



【ワークショップ形式】
グループ討論にあたって、施設を実際に見学するグループも！



ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました！

職員のスキルアップ！「PPP/PFI推進」職員研修

平成30年12月19日（水）、周辺6市町村※1による連携事業として、公共施設マネジメント職員研修会を開催しました。特定NPO法人日本PFI※2・PPP※3協会の寺沢弘樹さんを講師に迎え、「公共施設等を取り巻く環境と生きる手段としてのPPP/PFI～発想の転換/ユルクトンガル+アカルイミライ～」というテーマで、多様な公民連携の事例や、職員の意識改革の必要性などについて学びました。

長年にわたりマネジメントに携わってこられた実績に裏打ちされた「熱い」話に聴講者も引き込まれるように耳を傾けており、聴講した職員など93名は大いに刺激を受けました。今後の公共施設マネジメントの推進にあたっては、PFI手法も含めた民間活力の積極的な活用が必要であると改めて感じた研修となりました。



- ※1：周辺6市町村
須坂市、飯綱町、坂城町、信濃町、高山村、長野市
- ※2：PFIとは
Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う公共事業の手法です。
- ※3：PPPとは
Public Private Partnership（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の略で、行政と民間が協力して公共サービスを効率的に運営する手法のことで、官民パートナーシップ、官民連携とも呼ばれています。

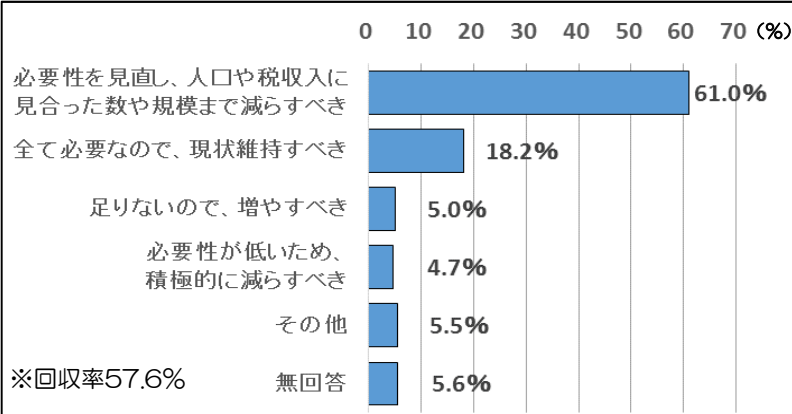


平成30年度まちづくりアンケートの結果より

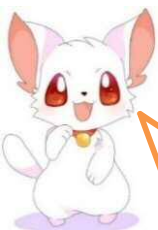
18歳以上の市民の中から無作為に抽出した5千人※を対象とした「平成30年度まちづくりアンケート」の中で、公共施設マネジメントについての考えをお尋ねしました。

「公共施設の総量を縮減することに対するあなたの考えに最も近いものはどれですか？」との設問に対する回答はグラフのとおりでした（詳細は長野市広報広聴課HPをご覧ください）。

これからも市民の皆さまのご意見等を参考に、施設の再編・再配置に向けた検討を重ねてまいります。



◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、【長野市ホームページ＞組織で探す＞公共施設マネジメント推進課】をご覧ください。



**公共施設マネジメント推進に対する
皆さまのご意見をお聞かせください。
次号の「ニュースレター第10号」
もお楽しみに！**

**長野市 総務部 公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課**
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel: 026-224-7592 Fax: 026-224-7964
E-mail: koukyou@city.nagano.lg.jp

◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。